

令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	国際公開臨海実習Ⅲ		
実習内容	<p>本プログラムは、主に大学院の修士課程・博士課程、および学部専門課程に在籍する学生が、北海道大学厚岸臨海実験所の実験設備とフィールドを利用して英語で実施する実習である（日本語によるサポートあり）。厚岸を含む北海道東部太平洋側の沿岸域はアマモ場、コンブ藻場、干潟、塩性湿地など、日本の他地域では開発により縮小した貴重な沿岸生態系が広く残存している。この実習では、特に植物プランクトン、岩礁潮間帯とコンブ藻場、および海洋生態系と陸域生態系の関連性に焦点をあてて学ぶ。</p> <p>① 実習観測船「みさご丸」による沿岸域の海洋観測と植物プランクトン観察 ② 陸域からの物質流入が海洋生態系に与える影響に関する評価 ③ 厚岸湾の岩礁潮間帯とコンブ藻場の生物群集 ④ グループでの課題研究・成果報告</p>		
実習内容キーワード	沿岸生態系、プランクトン、陸と海の相互作用、岩礁潮間帯、コンブ藻場		
担当教員氏名・所属・役職名	仲岡雅裕・北方生物圏フィールド科学センター・教授 伊佐田智規・北方生物圏フィールド科学センター・准教授 鈴木一平・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	Jillian LS OOI・マラヤ大学・准教授 Yang Amri AFFENDI・マラヤ大学・研究調査官		
対象学生・学年	学部3～4年生、 および大学院生	開講期間	7月11日(土)～15日(水) (11日夕方集合、15日午前解散)
開講大学・施設名	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所		
施設の住所	〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地		
電話	0153-52-2056	F a x	0153-52-2042
e-mail	nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp	Web Site	http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/
交通案内	釧路空港から空港連絡バスで約45分、JR釧路駅下車。釧路駅からJRで厚岸駅まで約50分、駅からタクシーで臨海実験所まで17分約2,000円。JR厚岸駅からバス(本数少ない)では15分「国泰寺」下車、実験所まで徒歩25分。札幌(新千歳空港)からはJRで釧路駅まで特急で約4時間、高速バスで約5時間。		
費用	宿泊費と食費、その他雑費を含めて合計約10,000円。		
授業科目名	特別実習(国際公開臨海コースⅢ)		
単位数	1	定員数	8
授業料の徴収について	国立大学および協定のある公立私立大学の学生は所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切は実習開始日の2か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う(実習開始日の1か月前まで)。また、定員に余裕がある場合は、学部1、2年生の受講も受け付ける。		
選抜結果連絡法	本人に郵送(連絡可能者はE-mail)で仮通知。後に理学部から正式通知を郵送。		